

## 飯田丸五階櫓

### 飯田丸五階櫓石垣新補石材加工

令和2年(2020)12月から令和3年(2021)1月にかけて飯田丸五階櫓石垣復旧のための新補石材の加工を行いました。作業は石工が行い、2メートル近い大きさの石を粗削り加工して築石用石材としました。加工した石材は飯田丸五階櫓の石垣の復旧工事の際に破損した石材と交換するため、元の石材の形にさらに近づける細かい加工を経て積み直します。



加工作業状況(令和3年1月14日)



彫取り作業(令和3年1月14日)



加工作業状況(令和3年1月14日)

## 熊本地震における熊本城の被災状況

熊本城全体の石垣：973万、約79,000㎡  
特別史跡熊本城跡の土地面積：約512,000㎡

### 平成28年4月16日1時25分「本震 M7.3」

※震源での被害を含む

種類	被害数量	内容
重要文化財建造物	13棟	倒壊2棟、一部倒壊3棟。他は屋根・壁破壊など
復元建造物	20棟	倒壊5棟。他は下部石垣崩壊、屋根・壁破壊など
石垣	崩落・影らみ・緩み 517面 (うち崩落50箇所、229面)	約23,600㎡(全体の29.9%) (うち崩落約8,200㎡(全体の10.3%))
地盤	陥没・地割れ70箇所	約12,345㎡
便益施設・管理施設	26棟	屋根・壁破壊など



## 『復興熊本城Vol.4天守閣復興編Ⅱ』

書店にて発売中!



平成28年(2016)の熊本地震によって最大被害を受けた熊本城の記録を、定期的に発行します。  
Vol.4では、平成28年熊本地震で被災した天守閣復旧工事の概要から外装・内装工事の様子、令和2年度上半期までの復旧の様子などを収録しました。  
現在、熊本県内の書店などで発売しています。

### 熊本県立美術館 本館 (4月3日~6月27日)

開館45周年 感謝をこめて魅せます! 美術館コレクション

今年、当館は開館45周年を迎えます。これまでのご支援に感謝をこめて、本展では当館えりすぐりの美術品を展示。美術館にみられる物語や構図、色、形などの要素から魅力に迫ります。  
◆その他上半期の展覧会  
●集う・まわりの色紙たち—湯画家・尾田翠一郎氏 単色色紙6点特別公開—(6月20日まで)  
●繪葉書/おかやま、林原美術館展 海中洛外図屏風と大文化(7月16日~9月5日)  
●細川コレクション 絵巻、い(7月17日~9月12日)



## 熊本城ミュージアム わくわく空

### 熊本城特別公開第3弾記念企画 「発見!熊本城—未来へつなぐものがたり—」

期間：4月26日(月)~6月27日(日)  
場所：わくわく空2階 ヒューラウンジ  
内容：熊本城の復旧・復興過程での新たな発見をご紹介します。長年の発掘調査で出土した遺物も展示します。  
料金：入館料(大人300円、子ども(小・中学生)100円)

### 熊本城・共通入園券のご案内

お得：共通入園券  
2館共通入園券(熊本城・わくわく空)  
大人850円、子ども(小・中学生)300円  
3館共通入園券(熊本城・わくわく空・熊本博物館)  
大人1100円、子ども(小・中学生)400円



## 熊本博物館 夏季特別展



銀河鉄道之夜-KAGAYA 星の世界展 (7月17日(土)~9月5日(日))  
プラネタリウム番組「銀河鉄道の夜」を手掛けたKAGAYA氏のデジタルアート・星景写真等を展示します。

### サザンクロスKAGAYA

◆2021年度上半期の展覧会  
●企画展 「震災をひらかえる—一大地とモノが語る熊本地震—」(5月9日(日)まで)  
●企画展 熊本中央区立京町3-2 096-324-3500 開館時間など詳細はホームページまで  
●企画展 熊本城ミュージアム 参事丸 096-352-2111 開館時間など詳細はホームページまで

熊本博物館 KUMAMOTO MUSEUM

# 熊本城

~復興に向けて~

令和3年 春夏号



※施設の臨時休館や開催を変更する場合がございます。詳細はお出かけ前にご確認ください。

新型コロナウイルス感染症の影響により公開を変更する場合がございます。最新情報は熊本城特別公開ホームページをご覧ください。

# 復旧完了

## ◆天守閣

### 天守閣の展示改修

天守閣復旧整備工事（外観工事・内装工事など）に続いて、内部の展示改修も実施しました。地階から6階まで全面的にリニューアルを行い、令和3年（2021）3月末に完了しました。大型模型・レプリカ・映像など見どころ満載の常設展示は、令和3年4月26日から一般公開の予定です。



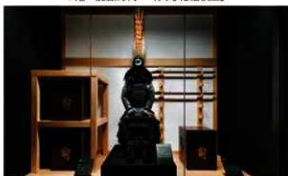
地階（小天守穴蔵） 井戸



1階 加藤時代「天守軸組模型」



1階 加藤時代「天守上段模型」



2階 徳川時代「武器庫としての天守」



3階 シアター「昭和三十五年の天守再建」



4階 復興城主デジタル芳名板

## ◆長堀 (国指定重要文化財)

長堀が令和3年（2021）1月29日に復旧完了しました。長堀は、平成28年熊本地震により被災したため、一旦解体し平成31年（2019）2月から復旧工事を行っていました。復旧に際しては城内側に補強を施し、地震前の姿に復旧しつつ、地震・耐風対策も行いました。現在は坪井川対岸から、漆喰の白と下見板の黒のコントラストが美しい長堀の姿をご覧くださいいただけます。



坪井川対岸より



城内側より

## 平櫓 (国指定重要文化財)

### 国指定重要文化財平櫓発掘調査

令和2年（2020）11月から12月に平櫓の発掘調査を行いました。調査の結果、古い礎石や石垣の根石と根石下の基礎部を確認しました。今回の調査によって、平櫓の修理履歴の一端が明らかになりました。令和3年度は令和2年度の調査成果を反映して、石垣復旧のための解体調査を行う予定です。



根石・基礎部確認状況 東から (令和2年12月21日)



調査地透視 西から (令和2年12月25日)



現礎石下の旧礎石確認状況 (令和2年12月21日)



発掘作業状況 北東から (令和2年12月9日)

## 要人櫓

令和2年（2020）10月に飯田丸五階櫓下の要人櫓の石垣解体調査が完了しました。江戸時代の遺構を確認した箇所は、全国的にも珍しい土留め構台を石垣前面に設置し、背面を矢板で一段ずつ抑える工法にしたことで、遺構を保護しつつ、石垣の大ききく変状した部分の解体を可能にしました。要人櫓の石垣は、令和3年度に積み直しをする予定です。



土留め矢板設置作業状況 (令和2年10月5日)



土留め矢板設置作業状況 (令和2年10月5日)



解体作業状況 (令和2年10月5日)



築石尚土の接点確認作業状況 (令和2年10月19日)